



**AAMT**  
Asia-Pacific Association for Machine Translation  
アジア太平洋機械翻訳協会

# 一般社団法人アジア太平洋機械翻訳協会 第5回定時社員総会

日 時 2024年6月20日 14:00~14:50

会 場 AP虎ノ門

# 議 事

1.開会の辞

2.会長挨拶

3.出席会員の確認

4.議案

- 第1号議案 2023年度事業報告
- 第2号議案 2023年度決算報告
- 第3号議案 理事・監事人事(案)
- 第4号議案 2024年度事業計画 (案)
- 第5号議案 2024年度収支予算 (案)
- 第6号議案 定款の変更(案)
- その他・会員提案事項

5.閉会の辞

# 4. 議案

- 第1号議案 2023年度事業報告
- 第2号議案 2023年度決算報告
- 第3号議案 理事・監事人事(案)
- 第4号議案 2024年度事業計画 (案)
- 第5号議案 2024年度収支予算 (案)
- 第6号議案 定款の変更 (案)
- その他・会員提案事項

第1号議案

2023年度事業報告

# 第1号議案 2023年度事業報告

2024年3月31日

一般社団法人アジア太平洋機械翻訳協会会長 隅田 英一郎

1. イベント委員会では、**年次大会を実施し**、また、**総会の運営**を行い、**盛況**であった。
2. 2022年度に開始したオンライン・セミナーを強化するため独立した**セミナー委員会を設置し**、セミナーを5回/年開催し多数の参加を得ることができ、**AAMT事業の柱の一つに成長させた**。
3. **AAMTジャーナル「機械翻訳」2号/年の発行を着実に実施し**、また、広告掲載は検討したが結論にいたらず検討を継続することとなった。
4. セミナー、大会等の機会を捉えプレスリリース、SNS広告、記事広告、関連団体へのメール配信で**AAMTを年間を通じて広報した**。
5. 2023年度は、2022年度までと同様に、**AAMT長尾賞**、**AAMT長尾賞学生奨励賞**の宣伝、募集、選考の活動を行った。
6. 2023年6月に施行された電気通信事業法に関連して**プライバシーポリシーを修正し**AAMT自身の**反社会的勢力に関する宣言を作成し**ウェブサイトに掲載した。
7. マカオで**国際会議MTサミット**をハイブリッド開催（参加者数は200名弱、参加国は20以上）し、併設でワークショップ（アジア言語の）WATと（特許の）PSLTを開催し成功裏に閉幕した。
8. 学生向け**国際会議オンライン参加支援制度**は4名（国内大学3名、海外大学1名）を支援し**参加報告のジャーナル掲載など好循環**となってきた。
9. 特許翻訳研究会では、会合を6回開催し、**特許機械翻訳の改善に繋がる自然言語処理を中心とした諸課題について委員や外部講師による研究発表と議論を行い報告書**を作成した。

## 1. イベント委員会

当委員会は、今年度も主にアジア太平洋地区において機械翻訳の技術開発、利用促進のために必要な情報の収集および発信の場として、イベントを企画運営した。具体的には、上期には年次総会の運営支援を行い、下期からは年次大会（2023年度は11月/AAMT 2023, Tokyo）を企画運営した。

2023年度の活動は下記のとおりである。

### 1. 定時社員総会の運営

昨年度同様、定時社員総会の当日運営を支援した。

### 2. AAMT 2023, Tokyoの開催

今年度も、年次大会を開催し、AAMTの活動を協会内外に発信した。昨年同様、会場開催とZoomでのオンライン同時配信を併用したハイブリッド形式で実施した。

## 2. セミナー委員会

以下を目的として、定期的（年5回）に機械翻訳に関する最新情報を発信するためのセミナー及び研究界を開催した。

1. AAMT会員へのメリットの提供
2. 新規会員獲得のための知名度向上
3. 業界の活性と社会への貢献

### 活動：

年5回開催予定：5月、7月、9月、1月、3月

5月：ポストエディットの真実～英日PEに従事した翻訳者のアンケート結果より～

7月：激動のAI業界～これからのデータ構築にどう取り組む？～

9月：アジア・ヨーロッパにおける「AI翻訳」ビジネス市場分析及び生成AI翻訳の現状から

1月：生成AIの隆盛を踏まえた機械翻訳サービスの開発・提供と利用に際しての法的留意点

3月：第1回AAMT若手翻訳研究会（通訳・翻訳・機械翻訳に関する若手研究発表会）

**形式：**Zoomによる90分の講演とQ&A、講演後2週間のオンライン配信

理事以外、プログラム委員として小澤脩斗氏（コニカミノルタジャパン株式会社DXソリューション事業部）にも協力を仰ぎ、広報委員長の石川氏にも支援いただいている。

### 3. 編集委員会

年2号の発行号数を目標としてAAMTジャーナル「機械翻訳」の記事を企画・編集し、電子ジャーナルとして発行した。ジャーナル記事の著作権としては Creative Commons Attribution ShareAlike 4.0 を基本とすることにより、投稿された記事が自由に流通することにより、著者とAAMTの利益が最大化することを目指す。また、「法人会員PR」として、機械翻訳に関して、法人会員からPR記事を受け付けた。



## 4. 広報委員会

### 1. ウェブサイト

これまでと同様にウェブサイトの本協会における重要な情報発信手段と位置付け、会員向けサイトでAAMTジャーナルを早期公開した。さらに、AAMTセミナーと年次大会の広報も行った。

また、関連団体と協力して業界内の問題について注意喚起を行った。

### 2. SNS

Twitter、Facebookでの発信を続けた。

### 3. その他広報活動

薬事日報に広告を掲載し、医薬関連企業に対してAAMTの周知活動を行った。年次大会のプレスリリースを発信した。また、通訳翻訳ジャーナルには年次大会のバナー広告を掲載した。イベントごとには関連団体などにメールを送信し、集客活動を行った。

入会案内やセミナーのリーフレットを作成し、関連団体のイベントでAAMTジャーナルと併せて配布し、AAMTの認知向上を図った。

## 5. 長尾賞委員会

---

2023年度は、2022年度までと同様に、AAMT長尾賞、AAMT長尾賞学生奨励賞の宣伝、募集、選考の活動を行った。

## 6. 法人強化委員会

非営利団体用に料金割引等の特典があるサービスについて、一般社団法人であるAAMTがその特典を享受できる条件を満たしているか検討した。

2023年6月に施行された電気通信事業法に関連して、AAMTが対応すべき課題がないかを検討し、ウェブサイトで公開しているプライバシーポリシーを修正した。

また、会員に対しては新規会員申し込み時には反社会的勢力との関係がないことを確約してもらっていたが、AAMT自身はその宣言を行っていなかったため、反社会的勢力に関する宣言を作成し、ウェブサイトに掲載した。

## 7. 国際化対応

AAMTをAsia-Pacificの組織として国際化していく方策の1つとして、2014年以降、日本の研究者が中心となって継続的に開催しているアジア翻訳ワークショップ（Workshop on Asian Translation; WAT）をAAMTの国際会議の母体とする検討を継続している。このために、WAT2018、2019、2020、2021、2022に引き続きMT Summit 2023（マカオ、2023年9月）の併設ワークショップとして開催されたWAT2023をスポンサーとして支援した。WAT2023では招待講演や研究論文発表、翻訳タスクの評価結果の報告などがあり、各国から50名程度の現地参加者が集まり盛況であった。

AAMT主催によりMT Summit 2023を9月4日から9月8日まで中国のマカオで開催した。会議は現地とオンラインのハイブリッド形式で開催され参加者数は169名（現地参加は110名）、参加国は25か国に達した。論文数はリサーチトラック33、ユーザートラック21、招待講演関係セッションは3件、スポンサーセッション、バンケットなどのイベントは合計6件であった。スポンサーは5か国、16社に達し、引き続き産業界からの高い支援を受けることができた。なお今回のIAMT award of honorはHuawei Noah's Ark Lab.のDr. Qun Liu氏に贈呈された。また次回のMT Summit 2025はEAMT主催でジュネーブで開催される予定である。

## 8. 学生学会参加サポート事業

2023年度はAAMTを中心に企画運営を行う MT サミットへのオンライン参加を希望する学生への会議参加費の支援を実施した。

AAMTフォーラムや関係学会のメーリングリスト等で告知を行い、4名（国内大学3名、海外大学1名）から応募があり、4名全員への支援を決定した。支援を受けた学生の会議参加レポートはAAMTジャーナル79号に掲載された。

## 9. AAMT/Japio特許翻訳研究会

知財のグローバルな流通が加速するにつれ、特許業務の多言語化が進展し、その翻訳の需要も急速に高まっている。このような状況の中で、本研究会は、特許情報のデータベース化とその翻訳の機械化に先進的な役割を果たしている一般財団法人日本特許情報機構(Japio)からの委託を受け、特許の機械翻訳の技術的な課題を把握し、次世代の特許翻訳のビジョンを明確にすることを目標に引き続き活動を行う。

2023年度も委員や外部講師による研究発表を行う会合を6回開催し、特許機械翻訳の改善に繋がる自然言語処理を中心とした諸課題について議論を行い、報告書を作成した。

また、2023年9月に開催されたMTサミットでワークショップ (PSLT 2023) をハイブリッド形式で開催した。招待講演3件のみの半日の開催であったが、現地・オンライン合わせて40名弱の参加があり、活発な質疑が行われた。

## 協会活動報告 (2023年4月～2024年3月)

### 予算理事会

- 2024年3月27日

### 第3回社員通常総会

- 2023年6月21日

### 通常理事会

- 2023年5月17日 (2023年度 第1回通常理事会)
- 2023年6月21日 (2023年度 第2回通常理事会)
- 2023年8月9日 (2023年度 第3回通常理事会)
- 2023年10月11日 (2023年度 第4回通常理事会)
- 2023年12月13日 (2023年度 第5回通常理事会)
- 2024年2月7日 (2023年度 第6回通常理事会)
- 2024年3月27日 (2023年度 第7回通常理事会)

## イベント委員会

リモートワークを推進した結果、イベント委員会の活動もSlackやZoomを活用して実施した。

- **2023年7月度（2023年度第1回）**
  1. 本年度年次大会の開催形態について
  2. 年次大会の役割分担（担務）
  3. 年次大会の登壇者/講演内容候補
- **2023年7月度（2023年度第2回）**
  1. 日程変更について
  2. 実行委員会のスケジュールについて
  3. 講演者候補について
  4. 今後のスケジュールについて
- **2023年8月度（2023年度第3回）**
  1. 参加費の確定
  2. 年次大会のサブタイトルについて
  3. 実行委員会のスケジュールについて
  4. 講演者候補について
  5. 今後のスケジュールについて
- **2023年10月度（2023年度第4回）**
  1. 公募採択の決定
  2. 申込みの開始
  3. 実行委員会のスケジュールについて
  4. 当日の会場スケジュール
  5. 今後のスケジュールについて
- **2023年11月度（2023年度第5回）**
  1. 申込み状況の確認
  2. 招待客について
  3. 当日運営について
  4. 公募募集について
  5. 展示について
  6. スポンサーについて
  7. 懇親会について
  8. 下見について
- **2023年12月度（2023年度第6回）**
  1. 参加者について
  2. 収支について
  3. アンケートについて



## AAMT 2023, Tokyo ～機械翻訳の今と未来を探る～

### ■ 2023年11月29日【年次大会】

1. 10:00-10:10 ◎開会挨拶
2. 10:10-10:50 ◎招待講演① LLMをめぐる諸課題
3. 11:00-11:40 ◎招待講演②
4. 12:00-13:15 ◎ダイヤモンドスポンサーランチョンセミナー(2件)
5. 13:25-14:45 ◎公募セッション (1件あたり15分、5件)
6. 14:45-15:15 ◎ MT Summit参加報告
7. 15:30-17:00 ◎パネルディスカッション「通訳・翻訳の現実、技術と変革」
8. 17:00-17:10 ◎閉会挨拶
9. 17:30-19:30 ◎懇親会

### ●開催方式：会場でのリアルイベント／オンライン配信のハイブリッド形式

上記日程にて「AAMT 2023, Tokyo ～機械翻訳の今と未来を探る～」と、会場での懇親会を開催した。

昨年度同様、年次大会を有償開催とし、展示ブースも会場で設置した。ハイブリッド形式での開催であったが、関係者を含めて約195名が参加をし、一昨年度と比較して参加者が20%増えた。協賛企業のランチタイムウェビナーでは、会場参加者向けに、ランチョン形式でのウェビナー/ セミナーを実施した。

## セミナー委員会

### AAMTセミナーの企画/運営

事業年度開始時には予定されていなかったが、オンライン形式での情報発信の重要性が増し続けている昨今の事業環境を鑑みて、下期よりAAMTセミナーを企画運営した。

#### 1. 第4回AAMTセミナー「ポストエディットの実態 ～英日PEに従事した翻訳者のアンケート結果より～」

日時：2023年5月31日（水曜日）14：00～15：30  
講師：隅田 英一郎氏（AAMT会長、情報通信研究機構フェロー）  
参加者数：114名

#### 2. 第5回AAMTセミナー「激動のAI業界～これからのデータ構築にどう取り組む？～」

日時：2023年7月21日（水曜日）14：00～15：30  
講師：相良 美織氏（株式会社バオバブ代表取締役社長）  
参加者数：53名

#### 3. 第6回AAMTセミナー「アジア・ヨーロッパにおける「AI翻訳」ビジネス市場分析 及び生成AI翻訳の現状」

日時：2023年9月28日（水曜日）13：30～15：00  
講師：赤坂 清志  
（株式会社アットグローバルグローバルリサーチ部 主任調査員）  
藤山 耕介  
（株式会社アットグローバル シニアQAスペシャリスト）  
参加者数：39名

#### 4. 第7回AAMTセミナー「生成AIの隆盛を踏まえた機械翻訳サービスの開発・提供と利用に際しての法的留意点」

日時：2024年1月18日（水曜日）14：00～15：30  
講師：柿沼 太一 氏（STORIA法律事務所 弁護士・弁理士）  
参加者数：70名

#### 5. 第8回AAMTセミナー「AAMT若手翻訳研究会」

日時：2024年3月22日（水曜日）14：00～17：30  
講師：(応募者13名)  
参加者数：195名

## 編集委員会

---

- 編集委員会をオンラインで実施することにより、迅速な編集作業を実現している。
- No.79（2023年12月発行）を発行した。
- No.80（2024年6月発行）を発行予定

## 広報委員会

- 2023年年4月度
  1. MT Summitに関する広報を開始した
  2. 第4回セミナーページを作成し、SNS広告やメールなど広報活動をおこなった。
- 2023年年5月度
  1. AAMT長尾賞/AAMT長尾賞学生奨励賞発表に関するサイトを公開した。
  2. 第5回セミナーページを作成し、SNS広告やメールなど広報活動をおこなった。
  3. AAMTジャーナル78号の会員向けページを公開した。
- 2023年年6月度
  1. AAMTジャーナルPDF版を公開した。
- 2023年年8月度
  1. 年次大会の広報を開始した。
- 2023年年9月度
  1. 第6回セミナーページを作成し、SNS広告やメールなど広報活動をおこなった。
  2. 薬事日報社に広告を掲載し、インタビュー記事を掲載した。
  3. JTF、JAT、JACIとともに、4団体パネルディスカッションを行った。
- 2023年年10月度
  1. JTF翻訳祭での広報活動を行った
  2. 年次大会の申し込みを開始した
  3. 第7回セミナーページを作成し、SNS広告やメールなど広報活動をおこなった。
- 2023年年11月度
  1. AAMTジャーナル79号の会員向けページを公開した
  2. 通訳翻訳ジャーナルWEB版にバナー広告を出稿した
  3. AAMTジャーナルPDF版を公開した
- 2023年年12月度
  1. JTF、JAT、JACI共同で、詐欺まがいの翻訳講座に関する注意警告文を公開した
- 2024年2月度
  1. 自動翻訳シンポジウムにおいて、広報活動を行った
  2. 第8回セミナーページを作成し、SNS広告やメールなど広報活動をおこなった。
  3. 第8回セミナーのプログラムを公開した
  4. 第8回セミナーの受賞者を公開した

## 長尾賞委員会

- 2023年3月度
  - 1. 第18回AAMT長尾賞および第10回AAMT長尾賞学生奨励賞の募集を開始した。
- 2023年4月度（2023年度第1回）
  - 1. 第18回AAMT長尾賞選考委員会および第10回AAMT長尾賞学生奨励賞選考委員会を設置した。
- 2023年5月度（2023年度第2回）
  - 1. 第10回AAMT長尾賞学生奨励賞選考委員会による選考を行い、下記2件の受賞が決定した。
    - ・ 東京都立大学システムデザイン研究科 趙宇婷（Yuting Zhao）さん（現 九州大学大学院システム情報科学研究所）
    - ・ 東京工業大学情報理工学院 平岡達也さん（現 富士通株式会社）
- 2023年5月度（2023年度第3回）
  - 1. 第18回AAMT長尾賞選考委員会による選考を行い、下記1件の受賞が決定した。
    - ・ 中外製薬株式会社 信頼性保証企画部 翻訳マネジメントグループ・株式会社アスカコーポレーション
- 2023年6月度
  - 1. 総会に伴って受賞式およびを受賞記念講演を開催した。
- 2023年12月度
  - 1. AAMTジャーナル No.79 に受賞記念論文が掲載された。

## ■ 第18回AAMT長尾賞受賞式・記念講演会

### ・ 受賞者

中外製薬株式会社 信頼性保証企画部 翻訳マネジメントグループ・  
株式会社アスカコーポレーション

### ・ 受賞理由:

医薬品開発業務を迅速化するための機械翻訳の協調的開発と運用



医薬品開発業務のプロセスに機械翻訳(MT)技術を導入し翻訳業務の迅速化を達成した事例であり、その成功は、現場保有の翻訳メモリの学習によるシステムの分野適応、および品質水準の事前定義によるポストエディット基準の作成など、MT企業とユーザー企業による協調的な開発と運用により支えられている。現場導入の効果については、定量的に報告されており、今後の翻訳システム導入に大いに参考となる。比較的事例の多い不特定多数を対象とするMTを用いた新規サービスの展開ではなく、既存の業務に個別化されたMTを導入した先進的事例であり、MT企業とユーザー企業の協調的な取り組みによる成功事例として、産業界での実用促進への貢献が大きく、AAMT長尾賞の受賞にふさわしい。

## ■ 第10回AAMT長尾賞学生奨励賞

### • 受賞者1:

趙 宇婷 (Yuting Zhao)

東京都立大学 システムデザイン研究科 (現在：九州大学大学院 システム情報科学研究科)

### • 受賞対象論文:

“Multimodal Neural Machine Translation based on Image-Text Semantic Correspondence”

東京都立大学 小町守教授の指導のもとに、2022年度 東京都立大学の博士論文としてまとめられたものである。

### • 受賞理由:

本論文は、機械翻訳の入力として画像情報を利用する「マルチモーダル機械翻訳」に取り組んだ博士論文である。そのための方法として領域への注視に基づく手法と、入力文の単語と画像領域のアラインメントに基づく手法の二つを提案し、それぞれ有効性を示している。特に後者のアプローチはテキストと画像という異なるモダリティを融合し翻訳に有用な画像情報を得る新規性の高いアプローチであり、マルチモーダル機械翻訳の新たな可能性を示したと言える。以上の理由から、本論文は長尾賞学生奨励賞にふさわしいものとする。



- **受賞者2:**

平岡 達也 (Tatsuya Hiraoka)  
東京工業大学 情報理工学院 (現在：富士通株式会社)

- **受賞対象論文:**

“Task-Oriented Word Segmentation”  
東京工業大学 岡崎直観教授の指導のもとに、2021年度 東京工業大学の博士論文としてまとめられたものである。

- **受賞理由:**

論文は、機械翻訳を含む後段タスクに合わせた単語分割の最適化に取り組んだ博士論文である。単語分割は自然言語処理における重要な基盤技術であるが、本研究では後段タスクとの同時学習によってよりタスクに適した単語分割モデルを得るための手法を提案し、文書分類や機械翻訳における有効性を検証している。機械翻訳に特化した研究ではないものの、広く自然言語処理の性能向上に資する重要な研究であると言える。以上の理由から、本論文は長尾賞学生奨励賞にふさわしいものと考えます。





## 法人強化委員会

- 2023年5月度
  - 1. 非営利団体認証について  
非営利団体に有利なサービスについてAAMTが利用できるか等の検討をメールベースで行った。検討の内容等は適宜会長及び事務局長に相談した。
- 2023年10月度
  - 1. 電気通信事業法の改正についての検討  
AAMTの運営で影響のある部分を検討し、プライバシーポリシーの修正を検討した。メールベースで進め、適宜会長及び事務局長に相談した。
- 2023年11月度
  - 1. 反社宣言について  
AAMT自体の反社宣言を文面で作成して、ウェブサイトに公開した。メールベースで進め、適宜会長及び事務局長に相談した。
- 2023年12月度
  - 1. プライバシーポリシーの改訂について  
12月の理事会提出のためのプライバシーポリシーの改訂（案）の作成及び確認を行った。  
具体的には、クッキーに関する条項を追加した。メールベースで進め、適宜会長及び事務局長に相談した。

## 学生学会参加サポート事業

- AMTA 2023オンライン参加支援
  - 被支援者：橋本 簡美（立教大学）・平岡 裕資（立教大学）・山下 優樹（東京大学）・本多 純礼（ポツダム大学）
  - 支援額：936香港ドル（約17千円）×4

## AAMT/Japio特許翻訳研究会

- 2023年4月度（2023年度第1回）
  1. 2023年度の研究活動について
  2. 研究発表（田村委員）
  3. PSLT 2023について
- 2023年5月度（2023年度第2回）
  1. 研究計画について
  2. PSLT 2023について
  3. 研究発表（綱川委員）
- 2023年7月度（2023年度第3回）
  1. 研究発表（外部講師）
  2. PSLT 2023について
  3. 今後の活動方針について
- 2023年10月度（2023年度第4回）
  1. 研究発表（外部講師）
  2. PSLT 2023開催報告
  3. 次年度以降の活動方針について
- 2023年12月度（2023年度第5回）
  1. 研究発表（越前谷委員・外部講師）
  2. 次年度以降の活動方針について
  3. 2023年度の研究報告書について
  4. 今後のイベントについて
- 2024年2月度（2023年度第6回）
  1. 研究発表（外部講師）
  2. 2023年度の研究報告書について
  3. 2024年度の特許情報シンポジウムについて
  4. 次年度の研究報告書について
- 第10回特許・技術文書翻訳ワークショップ（2023年9月5日 於：マカオ）
  - 日本国特許庁 名和様
  - 中国IPPH Yan様
  - マカオ大学 Wong様

## 2023年度末（2024年3月31日）現在の会員数：

---

法人会員：75法人(2022年度末61法人、入会17法人、退会3法人)

個人会員：102名(2022年度末102名、入会20名、退会20名)

第2号議案

2023年度決算報告

## 1. 第2号議案 2023年度決算報告

一般会計  
 (1) 収支計算書  
 自：2023年4月1日  
 至：2024年3月31日

(単位：円)

科目	予算額	決算額	備考
<b>収益の部</b>			
1.入会金収入	30,000	113,000	入会 法人10社、個人13名（入会金免除有）
2.会費収入	5,711,000	6,321,000	法人117口、個人102名（うち学生会員8名）
3.イベント収入	1,124,500	2,273,100	年次大会参加費、懇親会費。セミナー参加費(2023年度提案)
4.協賛金収入	1,200,000	1,815,000	イベント協賛金収入
5.Japio受託収入	6,650,000	4,732,457	AAMT/Japio研究会受託収入
6.2023年度提案	660,000	0	セミナー参加費としてイベント収入に算入
7.雑収入	0	145	受取利息
<b>当期収益合計(A)</b>	<b>15,375,500</b>	<b>15,254,702</b>	

(単位：円)

科目	予算額	決算額	備考
<b>費用の部</b>			
1.会議活動費	770,000	372,625	理事会、総会会場費
2.広報費	1,035,000	1,167,052	HP管理費、広告費
3.事務局管理費	1,760,000	1,861,350	事務委託費、事務局経費
4.他団体交流費	720,000	520,000	JTF、言語処理学会会費。スポンサー費。WAT
5.イベント費	2,100,000	3,740,518	長尾賞、総会、年次大会、セミナー、MTSummt開催経費
6.編集委員会費	200,000	290,440	ジャーナル制作費（印刷、デザイン）
7.租税公課	10,000	140,200	収入印紙。消費税は予備費より
8.Japio受託事業費	7,656,000	4,534,547	AAMT/Japio研究会受託経費
9.各種事業費	170,000	101,161	学生支援
10.ソフトウェア償却	80,960	80,960	
11.2023年度提案	1,430,000	0	セミナー、MTSummit関係をイベント費へ
12.予備費	1,000,000	0	消費税を租税公課へ
<b>当期費用合計(B)</b>	<b>16,931,960</b>	<b>12,808,853</b>	
<b>税引前当期正味財産増減額(A)-(B)</b>	<b>-1,556,460</b>	<b>2,445,849</b>	
<b>法人税住民税及び事業税(C)</b>	<b>80,000</b>	<b>80,000</b>	
<b>当期正味財産増減額(A)-(B)-(C)</b>	<b>-1,636,460</b>	<b>2,365,849</b>	
<b>前期繰越正味財産額(D)</b>	<b>31,246,283</b>	<b>31,246,283</b>	
<b>次期繰越正味財産額(A)-(B)-(C)+(D)</b>	<b>29,609,823</b>	<b>33,612,132</b>	

## 2. 正味財産増減計算書

自：2023年4月1日  
至：2024年3月31日

(単位：円)

科目	金額
<b>I 経常収益</b>	
1. 受取会費	
年会費	6,321,000
入会金	113,000
2. 総会収益	
懇親会費	411,400
3. 年次大会収益	
参加費	563,000
懇親会費	326,700
協賛金	1,815,000
4. セミナー収益	
参加費	972,000
5. 受託収益	
AAMT/Japio研究会受託収入	4,732,457
6. その他収益	
受取利息	145
経常収益 計	15,254,702

科目	金額
<b>II 経常費用</b>	
1. 事業費	
業務委託費	1,299,625
諸謝金	1,826,340
旅費交通費	39,016
租税公課	10,000
支払手数料	520,095
事務委託費	1,161,415
事業費 計	4,856,491
2. 管理費	
印刷費	7,860
会議費	1,302,048
通信費	84,097
消耗品費	31,299
HP管理費	582,825
広告宣伝費	994,227
接待交際費	949,890
減価償却費	80,960
諸会費	110,000
租税公課	140,200
支払手数料	1,626,499
事務委託費	1,544,585
謝金	90,000
ジャーナル制作費	290,440
記念品（長尾賞）	38,755
研修費	78,677
管理費 計	7,952,362
経常費用 計	12,808,853
当期経常増減額	2,445,849
<b>III 経常外収益</b>	
経常外収益計	0
<b>IV 経常外費用</b>	
経常外費用計	0
税引前当期正味財産増減額	2,445,849
法人税、住民税及び事業税	80,000
当期正味財産増加額	2,365,849
前期繰越正味財産額	31,246,283
次期繰越正味財産額	33,612,132



## 3. 貸借対照表

2024年3月31日

(単位：円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1.流動資産		
現金	41,276	
普通預金	30,628,535	
未収入金	4,732,457	
前払費用	111,190	
前払会費	60,000	
流動資産合計		35,573,458
2.固定資産		
有形固定資産		
有形固定資産 計		0
無形固定資産		
ソフトウェア	404,800	
減価償却累計額	222,640	
	182,160	
無形固定資産 計		182,160
投資その他の資産		
長期前払費用	11,354	
投資その他の資産 計		11,354
固定資産合計		193,514
資産合計		35,766,972

科目	金額	
<b>II 負債の部</b>		
1.流動負債		
未払金	1,844,357	
未払費用	41,990	
前受会費	6,000	
預り金	52,293	
未払法人税等	80,000	
未払消費税等	130,200	
流動負債合計		2,154,840
負債合計		2,154,840
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産額		31,246,283
当期正味財産増減額		2,365,849
正味財産合計		33,612,132
負債および正味財産合計		35,766,972

## 4. 財産目録

2024年3月31日

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
<b>I 資産の部</b>		<b>II 負債の部</b>	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	41,276	未払金	1,844,357
普通預金	30,628,535	AAMT/Japio研究会業務委託費	(1,299,625)
三菱東京UFJ銀行①一般	(14,347,858)	AAMT/Japio研究会謝金等	(542,322)
三菱東京UFJ銀行②長尾賞	(635,561)	消耗品費	(2,310)
ゆうちょ銀行	(876,174)	未払費用	41,990
AAMT/Japio		前受会費	6,000
PayPay銀行	(14,768,942)	預り金(源泉税)	52,293
未収金	4,732,457	未払法人税等	80,000
Japio 受託収入	(4,732,457)	未払消費税等	130,200
前払費用	111,190		
前払会費	60,000		
流動資産合計	<u>35,573,458</u>	流動負債合計	<u>2,154,840</u>
1. 固定資産		負債合計	2,154,840
有形固定資産	0	正味財産	<u>33,612,132</u>
無形固定資産	182,160		
ソフトウェア	(182,160)		
投資その他の資産	11,354		
長期前払費用	(11,354)		
固定資産合計	<u>193,514</u>		
資産合計	<u>35,766,972</u>		

参考資料：説明資料

自：2023年4月1日  
至：2024年3月31日

(単位：円)

科目	決算額	内訳		備考
<b>収益の部</b>				
1.入会金収入	113,000	個人会員入会金	13,000	13名(1000*13)
		法人会員入会金	100,000	10社(10000*10)
2.会費収入	6,321,000	個人会費	470,000	94名(5000*94)
		学生会費	8,000	8名(1000*8)
		法人会費	5,843,000	74法人117口分
3.イベント収入	2,273,100	総会懇親会	411,400	68名(6050*68)
		AAMT2023参加費 会員	200,000	40名(5000*40)会場
		AAMT2023参加費 会員	171,000	57名(3000*57)オンライン
		AAMT2023参加費 非会員	60,000	6名(10000*6)会場
		AAMT2023参加費 非会員	132,000	22名(6000*22)オンライン
		AAMT2023懇親会	326,700	54名(6050*54)
		セミナー参加費	972,000	2023年度5回開催
4.協賛金収入	1,815,000	AAMT2023協賛金	660,000	ダイヤモンド(会員)2社(330,000*2)
			660,000	ゴールド(会員)4社(165,000*4)
			495,000	シルバー(会員)9社(55,000*9)
5.受託収入	4,732,457	AAMT/Japio研究会	4,732,457	(財)日本特許情報機構
6.雑収入	145		145	受取利息
<b>当期収益合計(A)</b>	<b>15,254,702</b>		<b>15,254,702</b>	

自：2023年4月1日  
至：2024年3月31日

参考資料：説明資料 (単位：円)

科目	決算額	内訳		備考
<b>費用の部</b>				
1.会議活動費	372,625	総会会場費等	372,625	理事会Zoom費用等含む
2.広報費	1,167,052	WEBサイト HP管理料	1,167,052	HP更新料、レンタルサーバー等
3.事務局管理費	1,861,350	事務経費 通信費	83,687	郵便代、プラスチックメール等
		事務経費 消耗品費	28,274	名刺等
		事務経費 支払手数料	197,054	税務申告、役員登記、振込手数料
		事務経費 印刷費	7,750	資料、宛名ラベル等印刷
4.他団体交流費	520,000	事務局運営費	1,544,585	公益総研事務委託費
		日本翻訳連盟	60,000	年会費
			55,000	翻訳祭スポンサー費
		言語処理学会	50,000	賛助会費
			55,000	スポンサー費
5.イベント費	3,740,518	WAT	300,000	スポンサー費
		長尾賞	42,300	記念品等
			528	支払手数料
		総会	325,380	懇親会費
			23,937	支払手数料 (Peatix)等
		AAMT2023	1,006,423	会場代
			493,400	懇親会費等
			111,370	講師謝礼
			68,777	支払手数料 (Peatix)等
		セミナー	90,000	講師謝礼
			74,714	支払手数料 (Peatix)等
		MTSummit2023	54,110	懇親会費
			1,127,635	開催費負担分 (送金手数料10,000円含む)
		事務委託費	321,944	公益総研事務委託費
6.編集委員会費	290,440	AAMTジャーナル	290,440	制作費 (印刷、デザイン)
7.租税公課	140,200		10,000	役員登記収入印紙代
			130,200	消費税 (予備費より)
8.Japio受託事業費	4,534,547	受託事業費	3,695,076	AAMT/Japio研究会経費
		事務委託費	839,471	公益総研事務分
9.各種事業費	101,161	ISBN申請	22,484	MTSummit
		学生支援	78,677	MTSummit
10.ソフトウェア償却	80,960	無形固定資産	80,960	ソフトウェア (2021年7月～5年償却)
11.予備費	0		0	
<b>当期費用合計(B)</b>	<b>12,808,853</b>		<b>12,808,853</b>	
<b>税引前当期正味財産増減額(A)-(B)</b>	<b>2,445,849</b>			
<b>法人税住民税及び事業税(C)</b>	<b>80,000</b>			
<b>当期正味財産増減額(A)-(B)-(C)</b>	<b>2,365,849</b>			
<b>前期繰越正味財産額(D)</b>	<b>31,246,283</b>			
<b>次期繰越正味財産額(A)-(B)-(C)+(D)</b>	<b>33,612,132</b>			

# 監査報告書

私たちは一般社団法人アジア太平洋機械翻訳協会の2023年度の収支計算書および正味財産増減計算書、2024年3月末現在の貸借対照表および財産目録について監査を行いました結果、本協会の2023年度の決算諸表が適法かつ公平に表示されているものと認めます。

2024年5月20日

一般社団法人アジア太平洋機械翻訳協会

監事 古谷 祐一

監事 濱口 宗武

第3号議案

理事・監事人事（案）

# 第3号議案 理事・監事人事（案）

以下の方々を2024年度～2026年度の役員として提案いたします。

## ■ 理事候補（20名・太字は新任）

安達 久博（株式会社サン・フレア）

石岡 映子（株式会社アスカコーポレーション）

石川 弘美（株式会社十印）

出内 将夫（富士通株式会社）

岩下 雅寛（TOPPAN株式会社）

内山 将夫（国立研究開発法人情報通信研究機構）

川崎 健（コニカミノルタ株式会社）

園尾 聡（東芝デジタルソリューションズ株式会社）

後藤 功雄（愛媛大学）

小林 明（一般財団法人日本特許情報機構）

菅谷 史昭（マインドワード株式会社）

須藤 克仁（奈良女子大学）

**楮 晨翠（京都大学）**

**富山 亮太（フリットジャパン株式会社）**

中澤 敏明（東京大学）

永田 昌明（日本電信電話株式会社）

長瀬 友樹（国立情報学研究所）

二宮 崇（愛媛大学）

**室田 陽子（株式会社アメリカ・ネットワーク）**

森口 功造（株式会社川村インターナショナル）

## ■ 監事候補（2名・太字は新任）

**田中 英輝（国立研究開発法人情報通信研究機構）**

古谷 祐一（株式会社ロゼッタ）

## 退任理事・監事

---

以下の方々には任期満了に伴い2023年度を以て理事・監事を退任いたします。

### ■ 理事

- 黒橋 禎夫 （国立情報学研究所）
- 隅田 英一郎 （国立研究開発法人情報通信研究機構）
- 田中 英輝 （国立研究開発法人情報通信研究機構）

### ■ 監事

- 浜口 宗武 （株式会社知財コーポレーション）



第4号議案

2024年度事業計画（案）

## 第4号議案 2024年度事業計画（案）

1. **イベント委員会**は増員し強化する。
2. **セミナー委員会**は過年度の実績を踏まえ**開催回数を6に増やす**。
3. 編集委員会は定着したAAMTジャーナルの発行を維持する。
4. **広報委員会**ではAAMTの拡大に資するべく**WEB、SNS**等を強化する。
5. 長尾賞・長尾学生奨励賞は現運営を維持する。
6. 規程等の拡充を検討する。
7. 国際化に資するべく引き続きWAT開催を支援する。
8. 学生向け国際会議オンライン参加支援制度を継続する。
9. AAMT/Japio特許翻訳研究会は**特にLLMに注力する**。

事業計画に大きな変更はないが、昨年度実績を踏まえ強化する。

理事・監事の一部退任を受け、継続予定・新任予定役員を下記とする。また事務局長を外部委託する。

	担務名	担務内容	担当理事（敬称略）
理事	会長	理事会召集、法人業務執行	【新理事会で決定】
	副会長	会長補佐	【新理事会で決定】
	財務	会計管理	永田昌明
	広報委員会	ウェブサイト、SNS、広報	石川弘美（委員長）、岩下雅寛
	編集委員会	AAMTジャーナル	内山将夫（委員長）、後藤功雄、出内将夫、園尾聡
	イベント委員会	年次大会 / 総会の企画運営	森口功造（委員長）、菅谷史昭、園尾聡、長瀬友樹、出内将夫、富山亮太、室田陽子
	セミナー委員会	セミナーの企画運営	石岡映子（委員長）、中澤敏明、川崎健
	長尾賞委員会	長尾賞/長尾賞学生奨励賞	二宮崇（委員長）、永田昌明
	国際化委員会	協会の国際化、Mtsummit	中澤敏明（委員長）、森口功造、内山将夫、褚晨翠 (Chenhui CHU)
	法人強化委員会	協会の法人としての強化	小林明（委員長）、安達久博
	学会サポート委員会	学会参加等の学生支援	須藤克仁（委員長）、二宮崇
	AAMT/Japio特許翻訳研究会	研究会,symposium,workshop	須藤克仁（副委員長）※本研究会委員長は理事ではない有識者
監事			古谷祐一、田中英輝

## 1. イベント委員会

当委員会は、今年度も主にアジア太平洋地区において機械翻訳の技術開発、利用促進のために必要な情報の収集および発信の場として、イベントを企画運営する。具体的には、下期（2023年度は11月/AAMT 2023, Tokyo）に開催している年次大会をその場として位置づけ、業界が潜在的に抱えている課題の共有や情報不足を解消する一助になることを目的とする。年次大会はAAMTの国際化推進を下支えできるような中核のイベントにすべく、発展的、段階的に拡大してゆくことを計画している。また、前事業年度から、通常総会時に実施する招待講演の運営も担う。

2024年度の活動計画は下記のとおりである。

### 1. 通常総会招待講演の運営

昨年度同様、招待講演の当日運営を担う。

### 2. AAMT 2024, Tokyo/(またはOnline)の開催

今年度も、年次大会を開催し、AAMTの活動を協会内外に発信する。実施の形態については、昨年度同様ハイブリッド形式での開催を想定する。このイベントでは機械翻訳の活用事例、業界トレンド、技術革新、その他MTに関連する技術領域を対象に、最新の情報をタイムリーに発信する場として位置付ける。会員のみならず非会員の参加者を促すことで、当協会の露出を増やし、会員増につなげることで、業界団体としての発展につなげたい。

## 2. セミナー委員会

定期的（年6回）に機械翻訳に関する最新情報を発信するためのセミナー、研究発表会を開催する。

### 目的：

1. AAMT会員へのメリットの提供
2. 新規会員獲得のための知名度向上
3. 業界の活性と社会への貢献

### 活動計画予定：

- 5月：成功事例に学ぶ、機械翻訳およびMTPEの導入方法（レッドハット株式会社）
- 7月：筑波大学精神神経科長 新井哲明教授によるAI研究事例（検討中）
- 9月、11月、1月：未定
- 3月：若手翻訳研究会

**形式：** Zoomによる講演とQ&A（90分）、講演後2週間のオンライン配信

**体制：** 理事である中澤氏、川崎氏に加え、運営、プログラム委員として小澤脩斗氏（コニカミノルタジャパン株式会社DXソリューション事業部）に引き続き協力を仰ぎ、イベント委員長である森口氏、広報委員長の石川氏にも支援いただきながら効果的運用を図る。

### 3. 編集委員会

年2号の発行号数を目標としてAAMTジャーナル「機械翻訳」の記事を企画・編集し、電子ジャーナルとして発行する。ジャーナル記事の著作権としては Creative Commons Attribution ShareAlike 4.0 を基本とすることにより、投稿された記事が自由に流通することにより、著者とAAMTの利益が最大化することを目指す。また、「法人会員PR」として、機械翻訳に関して、法人会員からPR記事を受け付ける。

## 4. 広報委員会

### 1. ウェブサイト

引き続き広報を本協会における重要な情報発信手段と位置付け、機械翻訳に関する情報を迅速に集約し発信できるようにする。

AAMTジャーナルの早期公開を行い、会員特典の価値を高める。

### 2. SNS

Twitter、Facebookでの発信を続ける。

### 3. その他広報活動

ポストエディットの拡大に伴い、翻訳者の参加を促進するため、翻訳者向けの媒体への広報を検討する。また、翻訳通訳に関わる業界団体と連携し、共同での広報活動を検討する。さらに、クライアント層へのリーチを拡大するために、自治体向けの冊子への広報を検討する。

## 5. 長尾賞委員会

2024年度は、2023年度までと同様に、AAMT長尾賞、AAMT長尾賞学生奨励賞の宣伝、募集、選考の活動を行う。また、それらの活動に加えて、AAMT長尾賞、AAMT長尾賞学生奨励賞の存在を広めるために、より効果的な宣伝の方法について検討を行う。



## 6. 法人強化委員会

---

一般社団法人として、組織運営が円滑に進められるように規程等の拡充を検討する。

## 7. 国際化対応

AAMTをAsia-Pacificの組織として国際化していく方策の1つとして、2014年以降、日本の研究者が中心となって継続的に開催しているアジア翻訳ワークショップ（Workshop on Asian Translation; WAT）をAAMTの国際会議の母体とする検討を継続している。このために、WAT2018-2023に引き続きEMNLP 2024（アメリカ・マイアミ、2024年11月）の併設ワークショップとして開催予定のWAT2024をスポンサーとして支援する。

また、アジア各国の機械翻訳の現状など（研究レベルや実社会応用など幅広く）の情報共有を行うための枠組みを用意するなど、アジア各国の連携をより強固にすることを検討し、AAMTのAsia-Pacificでの活動を活性化する契機とする。

## 8. 学生学会参加サポート事業

COVID-19の影響により始まった国際会議のオンライン開催・ハイブリッド開催については、徐々にオンサイト開催への回帰が始まっているものの、出張を伴わない形で比較的安価に参加ができるという面でハイブリッド開催は今後も継続するものと期待できる。

MT SUMMITをはじめとするオンライン参加を希望する学生への会議参加費のサポートを本年も継続する。AAMTと今後の機械翻訳産業・機械翻訳研究開発を担う学生との接点とする。補助を受けて参加した学生にはAAMTジャーナルへの参加レポートの寄稿を依頼し、学生への支援と同時に会員向けのコンテンツの充実を図る。

## 9. AAMT/Japio特許翻訳研究会

知財のグローバルな流通により、特許業務の多言語化により特許情報の翻訳需要は非常に大きくなっている。このような状況の中で、本研究会は、特許情報のデータベース化とその翻訳の機械化に先進的な役割を果たしている一般財団法人日本特許情報機構(Japio)からの委託を受け、特許の機械翻訳の技術的な課題を把握し、次世代の特許翻訳のビジョンを明確にすることを目標に引き続き活動を行う。

本研究会は、特許機械翻訳の改善に繋がる諸課題を対象とした幅広い研究テーマを扱い、委員による研究発表や外部講師を招いての講演を行う会合を年5～6回開催する。特に2024年度は大規模言語モデル(LLM)関連の話題を多く取り入れることを目指し、国内関係機関との情報交換も視野に活動を行う。研究の成果は報告書として公開する。

また、隔年開催となっている特許情報シンポジウムをオンラインで開催し、特許翻訳・特許情報処理についての情報交換と議論の場を提供する。

第5号議案

2024年度収支予算（案）

# 第5号議案 2024年度収支予算（案）

自：2024年4月1日  
至：2025年3月31日

（単位：円）

科目	予算額	概要
<b>収益の部</b>		
1.入会金収入	100,000	新規入会 法人9口、個人10名を想定
2.年会費収入	6,328,000	法人117口、個人102名(うち学生8名)を想定
3.イベント収入	2,372,000	総会講演会（非会員）、年次大会参加費、懇親会費
4.協賛金収入	1,500,000	イベント協賛金
5.Japio受託収入	4,211,768	AAMT/Japio研究会受託収入
6.雑収入	0	
当期収益合計(A)	14,511,768	

科目	予算額	概要
<b>費用の部</b>		
1.会議活動費	310,000	総会・理事会など
2.広報費	1,205,000	AAMTホームページ管理費、広告費
3.事務局管理費	2,650,000	事務委託費、事務局経費
4.他団体交流費	720,000	JTF、言語処理学会の会費、スポンサー費等
5.イベント費	3,394,500	総会、年次大会、セミナー開催経費、長尾賞
6.編集委員会費	200,000	ジャーナル制作費
7.租税公課	200,000	収入印紙、消費税
8.Japio受託事業費	4,646,770	AAMT/Japio研究会経費
9.各種事業費	170,000	ISO18587。学生支援
10.ソフトウェア償却	80,960	
11.予備費	1,000,000	
当期費用合計(B)	14,577,230	
税引前当期正味財産増減額(A)-(B)	-65,462	
法人税住民税及び事業税(C)	80,000	
当期正味財産増減額(A)-(B)-(C)	-145,462	
前期繰越正味財産額(D)	29,609,823	前年度予算の次期繰越正味財産額
次期繰越正味財産額(A)-(B)-(C)+(D)	29,464,361	

## 1. 2024年度 収益の部 詳細

(単位：円)

自：2024年4月1日  
至：2025年3月31日

科目	予算額	内訳			備考	
			人(口)数	単価		金額
1.入会金収入	100,000	法人会員	9	10,000	90,000	
		個人会員	10	1,000	10,000	
		学生会員	0	1,000	0	
2.年会費収入	6,328,000	法人会員	117	50,000	5,850,000	
		個人会員	94	5,000	470,000	
		学生会員	8	1,000	8,000	
3.イベント収入	2,372,000	総会懇親会	70	6600	462,000	
		年次大会参加費 会員	40	5,000	200,000	
		年次大会参加費 非会員	10	10,000	100,000	
		年次大会 オンライン参加費 会員	60	3,000	180,000	
		年次大会 オンライン参加費 非会員	20	6,000	120,000	
		AAMT年次大会懇親会	50	6,600	330,000	
		AAMTセミナー参加費 会員	150	3,000	450,000	
		AAMTセミナー参加費 非会員	100	5,000	500,000	
		AAMTセミナー参加費 学生会員	10	1,000	10,000	
AAMTセミナー参加費 学生非会員	10	2,000	20,000			
4.協賛金収入	1,500,000	AAMT年次大会協賛金	1	1,500,000	1,500,000	
5.受託収入	4,211,768	AAMT/Japio研究会	1	4,211,768	4,211,768	AAMT/Japio研究会受託収入
6.雑収入	0			-	-	
収益合計	14,511,768					

参考資料：費用の部 詳細

## 2. 2024年度 費用の部 詳細

自：2024年4月1日  
至：2025年3月31日

(単位：円)

科目	予算額	内訳		備考		
1.会議活動費	310,000	理事会・監事会	会議費	200,000	会場代・Zoom会議費用	
		交際費		110,000		
2.広報費	1,205,000	ウェブサイト	HP管理費	400,000	ホームページ維持管理費	
			広告費	広告宣伝費	230,000	
				ノベルティ作成	50,000	
				印刷費	60,000	
				バナー広告	165,000	JTFジャーナル
				自治体向け広告	300,000	
3.事務局管理費	2,650,000	事務局経費	通信費	150,000	郵便、メール配信、サーバー等	
			消耗品費	30,000		
			支払手数料	400,000	振込手数料、税務申告、役員登記手数料	
			印刷費	10,000		
		事務局運営費	事務委託費	1,920,000	公益総研(株)	
			事務局長委託費	120,000		
雑費	20,000					
4.他団体交流費	720,000	日本翻訳連盟	年会費	60,000		
			スポンサー費	55,000	翻訳祭	
		言語処理学会	年会費	50,000	賛助会員費1口	
			スポンサー費	55,000	年次大会	
		Workshop on Asian Translation	補助金	500,000		

科目	予算額	内訳		備考	
5.イベント費	3,394,500	長尾賞	記念品	50,000	
			支払手数料	5,000	
			雑費	5,000	
		総会	会議費	150,000	
			懇親会費	462,000	
			雑費	100,000	
		Zoom利用料	参加者管理システム	200,000	
		AAMT年次大会	会場・会議室	1,400,000	会場代
			講師謝礼	220,000	
			懇親会費	302,500	
			支払手数料	70,000	
雑費	220,000				
AAMTセミナー	講師謝礼	150,000			
	最優秀賞	20,000			
	優秀賞	40,000			
6.編集委員会費	200,000	AAMTジャーナル	制作費	200,000	
7.租税公課	200,000			200,000	収入印紙、消費税
8.Japio受託経費	4,646,770	AAMT/Japio	研究会経費	3,850,770	AAMT/JAPIO研究会受託経費
			租税公課	10,000	収入印紙
			AAMT負担経費	786,000	公益総研へ委託費用分
9.各種事業費	170,000	ISO 18587適合証明支援 IAMT関連学生参加補助	謝金	50,000	
			学会補助金	120,000	
10.減価償却	80,960	ソフトウェア減価償却		80,960	
11.予備費	1,000,000			1,000,000	
総額	14,577,230			14,577,230	



第6号議案

定款の変更

# 第6号議案 定款の変更（案）

より円滑な運営を実現するため現行の定款の見直しを行い、以下の改正を提案いたします。

現行定款	変更案
<p>(事務所) 第2条 当法人は、主たる事務所を<b>京都府相楽郡精華町</b>に置く。</p>	<p>(事務所) 第2条 当法人は、主たる事務所を<b>東京都新宿区</b>に置く。</p>
<p>(経費の負担) 第7条 当法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、<b>社員</b>になった時及び毎年、<b>社員</b>は、社員総会において別に定める額を支払う義務を負う。</p>	<p>(経費の負担) 第7条 当法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、<b>会員</b>になった時及び毎年、<b>会員</b>は、社員総会において別に定める額を支払う義務を負う。</p>
<p>(議事録) 第19条の2 議長及び<b>出席した理事</b>は、前項の議事録に記名押印する。</p>	<p>(議事録) 第19条の2 議長及び<b>社員総会において選任された議事録署名人2名</b>は、前項の議事録に記名押印する。</p>
<p>(役員の設置) 第20条 当法人に次の役員を置く (1) 理事3人以上<b>20</b>人以内</p>	<p>(役員の設置) 第20条 当法人に次の役員を置く (1) 理事3人以上<b>30</b>人以内</p>
<p>(議事録) 第33条の2 出席した会長、<b>副会長</b>及び監事は、前項の議事録に記名押印する。</p>	<p>(議事録) 第33条の2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。</p>
<p>(事業計画及び収支予算) 第35条 当法人の事業計画書、収支予算書については、毎事業年度の開始の前日までに会長が作成し、理事会の<b>決議を経て</b>当事業年度の最初の定時総会の<b>承認を受けなければならない</b>。 これを変更する場合も、同様とする。</p>	<p>(事業計画及び収支予算) 第35条 当法人の事業計画書、収支予算書については、毎事業年度の開始の前日までに会長が作成し、理事会の<b>承認を受け</b>当事業年度の最初の定時総会に<b>報告するものとする</b>。 これを変更する場合も、同様とする。</p>

※改正部分は**赤字・太字**で示す

## その他・会員提案事項

# その他・会員提案事項